

2022年2月9日

各位

双日株式会社

双日、日本ハム子会社である水産食品加工会社の全株式を取得
～国内有数の顧客基盤と商品開発・加工機能の獲得により、食品領域の成長を目指す～

双日株式会社（以下「双日」）は、2022年2月9日、日本ハム株式会社（以下「日本ハム」）との間で、水産原料の輸入、水産加工食品の製造・加工・販売事業を運営するマリルフーズ株式会社（本社：東京都品川区、以下「マリルフーズ」）の全株式、および関連する資産を取得することを合意し、同日付で株式譲渡契約を締結しました（以下「本件」）。

日本ハムの完全子会社であるマリルフーズは1964年創立の水産食品加工会社です。日本はもとより、ベトナム、ロシア、チリを含む全世界から各種水産原料を仕入れ、東南アジアを中心とした海外の提携工場や自社工場にて加工し、日本国内における45カ所の営業拠点を活用して約4,000社の顧客と直接商談する販売体制を構築するなど、国内水産市場において確固たる地位を築いています。

マリルフーズの主な取扱商品である寿司種は、提携工場や自社工場で差別化された技術を駆使して加工しており、付加価値の高い製品を幅広く提供しています。また、高い販売力を背景に、厳選した水産原料（サーモン、イカなど）を安定的に調達し、顧客ニーズに沿う商品を供給できる盤石なバリューチェーンを構築しています。

マリルフーズ取扱製品（抜粋）



ダイスサーモンシリーズ



海鮮スープシリーズ



アメリカオオアカイカ



いくら醤油漬け



北海道旨味たこ



サラダ商品



サーモントラウト



海鮮珍味商品

双日は、リテール・食品領域における成長戦略として、消費市場の“お客様起点のビジネス（マーケットイン志向）”にこだわり、「生活の豊かさ」と「利便性」を高める多様な事業展開を推進し、成長が続く ASEAN 地域を中心に事業拡大を図っています。

健康志向の高まりや調理の簡便化ニーズの増加を背景に、回転寿司や総合スーパーなどにおける水産食品市場が今後も世界的に拡大していくことが見込まれる中、マリフーズの強みである顧客基盤・商品開発・加工機能と、双日の有するグローバルネットワークやリソース、および豊富な事業投資実績による新規事業開発能力を組み合わせることで、アジアや北米をはじめとした海外展開の強化・拡大を図ります。特に、双日はベトナムにおける食品バリューチェーン構築に注力しており、卸や加工等の流通基盤を保有するなか、マリフーズがベトナムに有する自社工場を起点とした同国における水産食品の流通拡大に寄与する取組を推進します。

また、リテール分野ではマーケットニーズを起点としたコンシューマー向け新商品の開発、EC 事業・通販事業の強化による新たな顧客基盤の構築を推進するほか、水産分野では双日が従来から取り組んでいる長崎におけるマグロの養殖事業や中国のマグロ加工卸売事業の拡充に加え、さらなる製造・加工機能・商品開発の強化を図ることで、両社の持続的な成長を実現し、消費者のより良い生活の実現に貢献していきます。

（ご参考）

【マリフーズの概要】

名 称	マリフーズ株式会社
設 立	1964年10月
本社所在地	東京都品川区大崎二丁目1番1号
出 資 比 率	日本ハム 100% → 双日 100%
代 表 者	藤原 勝紀（代表取締役社長）
主な事業内容	水産加工品の製造販売および水産原料の輸入販売

【本件に関する問い合わせ】

双 日 株 式 会 社 広 報 部 03-6871-3404